

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

協議会名：	三好市公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>三好市は平成18年に三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村との合併により広域な市となり、病院、商店街、市役所、学校などが集積している池田バスターミナルを中心に路線バス網が広がっている。当地域は、住民の日常生活に路線バスが必要不可欠な地域であり、移動手段を持たない高齢者、学生等には、路線バスが重要な役割を担っている。</p> <p>近年では人口減少・高齢化が進展しており、地域公共交通の存続が危機に瀕している状況にある。しかし、誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、来訪者を含めた、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。その一環として、中でも、高齢者や学生の足の確保を主たる目的とし、「域内の主要集落から、病院・学校への移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>